

国際交流の象徴、「ワーキングホリデー制度」をご存知ですか？

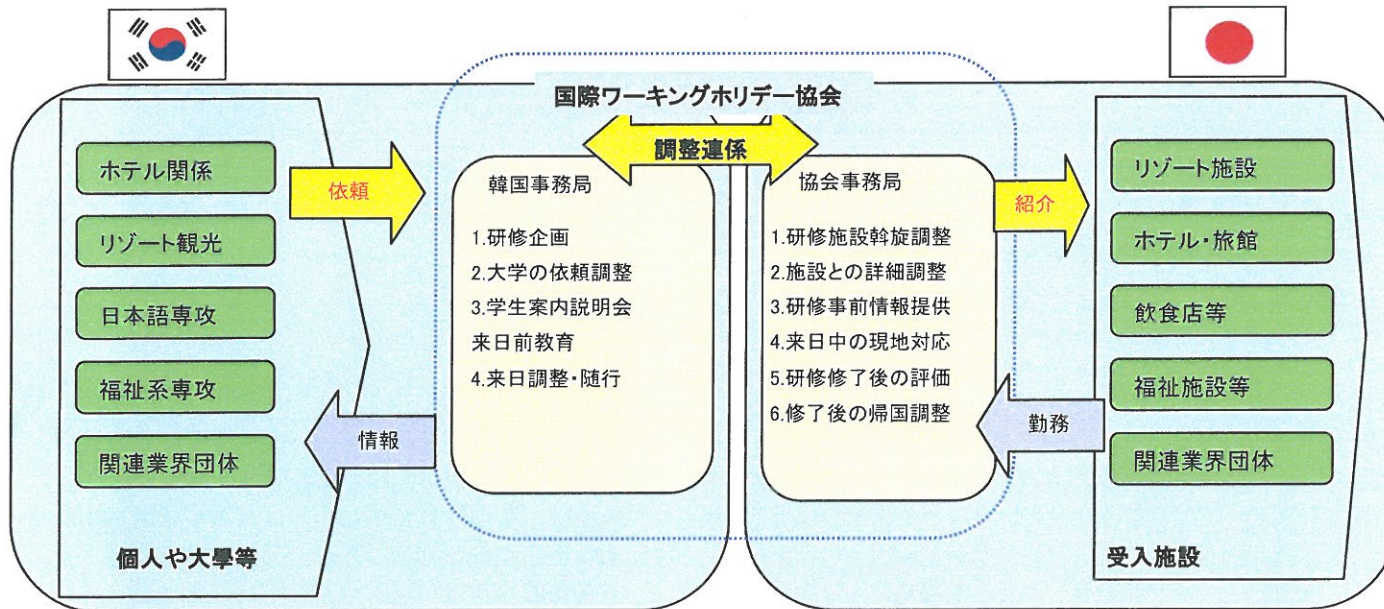
国際ワーキングホリデー協会は、ワーホリ制度を活用し、韓国の有能な若い人材の情報をご提供します。施設を運営される皆様においては、安定的かつ好条件の人材確保、韓国人顧客誘致につながると思いますので、ご協力をよろしくお願いします。

韓国の事情

- ①雇用環境の悪化による海外就業意欲の高さ
 - ②政府や大学の就職支援対策、個人の就業活動の一環
- ワーキングホリデー制度の活用した来日意欲の高まり

日本の受け入れの結果として

- ①人材交流を通じた人材難解消と経営改善
- ②顧客誘致、アジア市場開拓、施設活性化につながる可能性



受け入れ施設向けの協会のサービス

- ①ワーキングホリデー制度に関する情報提供
- ②ワーキングホリデー人材の情報提供及び推薦等の募集業務の代行
- ③受入説明会、ビザ発給などのワーキングホリデー生の人材誘致に関する諸手続きの協力代行
- ④インターンシップ制度等のワーホリ生受け入れに関する情報提供、制度の企画設計
- ⑤ワーホリ生の受け入れ前の現地事前教育
- ⑥ワーホリ生の来日中の全般的な管理及び生活指導
- ⑦万一の際のトラブル解決等のサポート

ワーキングホリデー制度とは、協定締結国の青少年に対し、一生に一度12ヶ月間日本で休暇の機会と、その資金を補うための一時的な就労の機会を与える制度です。働きながら日本の文化を学ぶ趣旨から、就労条件は日本人の一般労働者と同じ扱いになりますので、特別な規制等はありません。観光就業ビザとも言います。

日本の協定相手国は11カ国ですが、中でも韓国とは1999年制度実施から順調に発展、2008年4月首脳会談では、両国間の一層の交流拡大のために、年間、7200名（2012年までに10000名）の受入が決まりました。まさに日韓友好の象徴です。

韓国のワーホリは、どんな人材です？

韓国からのワーキングホリデー人材は、殆どが4年制大学を卒業し、日本語能力検定1～3級も取得しているため、日常的な会話や業務が不自由なくこなせます。また日本政府の審査を勝ち抜いた優秀な人材から、さらに当協会の事前面接にて人物の資質等を中心に厳しく審査しご案内しますので、安心して即戦力として業務に投入できます。また言葉や生活水準、習慣等が日本と最も近いので、勤務先においても問題なく適応しています。さらに必要な応じて、勤務に従事する前に基礎知識を習得するための事前研修を実施することも可能です。